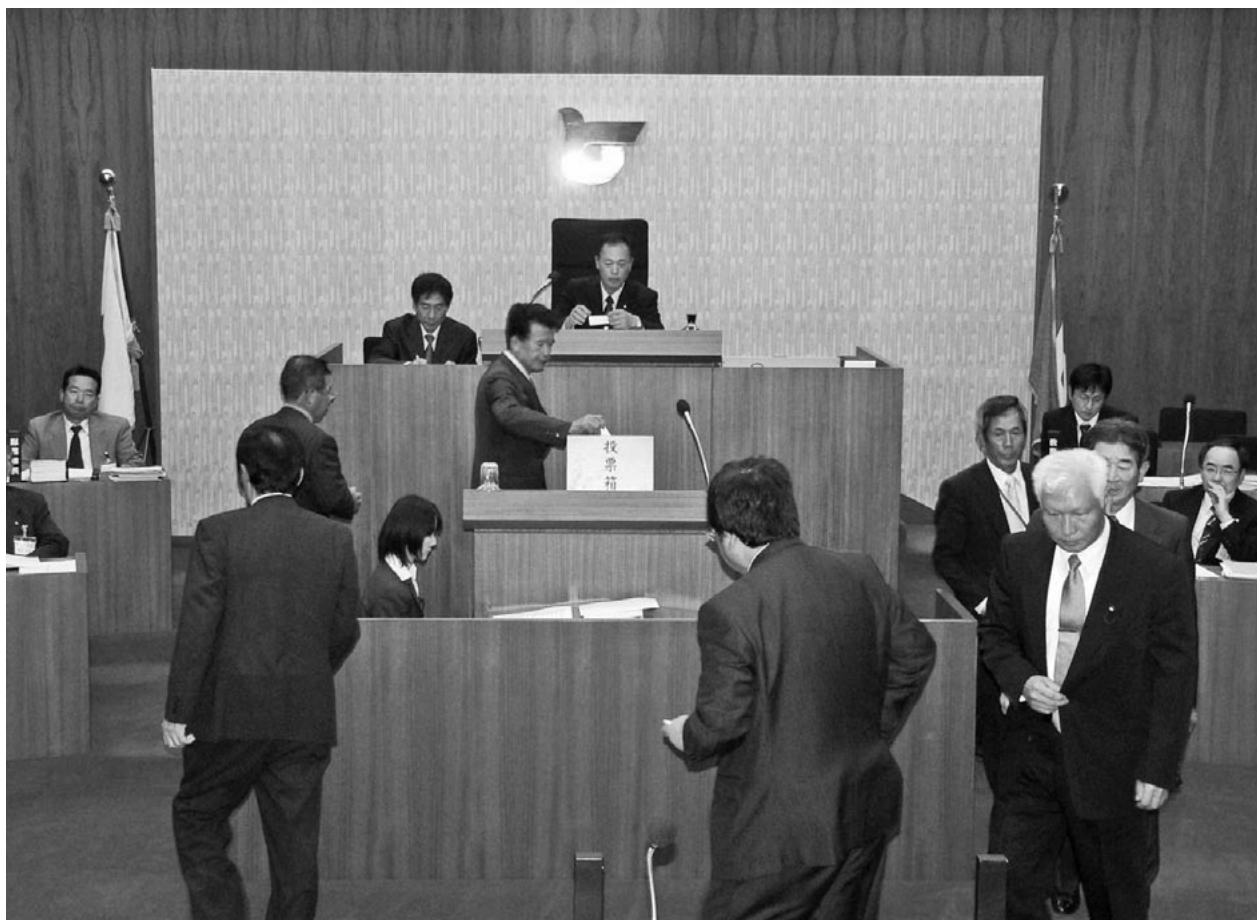


とみか

—町議会だより—

No. 134
JULY

7



CONTENTS

● 富加町議会構成	2~3
● 議長・副議長就任挨拶	4
● 第4回 臨時会 第5回 定例会	5
● 町政Q&A 一般質問	6~7
● 議会の動き・編集後記	8



5月8日

町議会臨時会が開催され、
議長・副議長選挙が行われました。

平成二十一年富加町議会構成

(平成二十一年五月八日)

平成二十一年五月八日に第三回臨時会が開かれ、専決処分承認(条例の一部改正)などが、審議され、原案どおり可決しました。その後、議長・副議長選挙が行われ、議長に佐曾利 敏氏、副議長に佐藤 正明氏、議会の委員会構成も次のように決まりました。また、議会議員選任の町監査委員に、井戸祐司氏が選任されました。

議員の構成

議長

佐曾利 敏

副議長

佐藤 正明

町監査委員

(議会議員選任)

井戸祐司

総務産業建設委員会

委員長 板津敏彦
副委員長 山田守
委員 井戸祐司
佐曾利 敏

議会運営委員会

委員長 梅村和芳
副委員長 板津徳次
委員 石原伊三武
板津敏彦

文教厚生委員会

委員長 石原伊三武
副委員長 板津徳次
委員 梅村和芳
佐藤 正明

議会広報委員会

委員 山田守
板津徳次

議長



佐曾利 敏

副議長



佐藤 正明

【総務産業建設委員会】

委員長



板津 敏彦

副委員長



山田 守

【文教厚生委員会】

委員長



石原伊三武

副委員長



板津 徳次

【議会運営委員会】

委員長



梅村 和芳

町監査委員（議会議員選任）



井戸 祐司

議長就任あいさつ

佐曾利 敏

謹んでご挨拶申し上げます。

去る五月八日の臨時議会において、浅学非才な私が、議員皆様のご推挙をいただきまして、議長に就任いたしました。

まことに身に余る光栄と存じます。その重責をひしひしと感じています。

ひたすらに、町民皆様の福祉向上と、富加町の発展に微力でございますが町当局とともに精進してまいります。

社会経済の激しく変動する中、昨年秋季以降アメリカを発端とした世界金融危機により、日本経済は景気の低迷悪化が続い

ており非常に厳しい状況となっております。私たちの日常生活環境においても困難を強いられてしま

富加町の財政運営につ

いても厳しい状況です。が、常に「明るく住んでいてよかつた、活力ある町づくり」を目指し前進しなければと思

町当局と議会が一体となり、そのことを推進してまいりたいと考えます。

現在、町に課せられた課題は、少子高齢化対策、福祉向上対策、住環境及び自然環境保全対策、産業振興対策、町内公共施設維持管理対策、等々山

積み上げていきます。が、議会といたしましては、町民皆様のご意見を十分に

聞きながら、町民の目線にて協議検討を重ね、方向付けをしてまいりたいと考えます。

東海環状道路や国道4

18号バイパスなどの地の利を生かした、道の駅建設、西山浦工業団地B区画のダイリツ企業の工場建設も近々となりました。少しずつではありま

すが着実に進歩しています。

そして、第四次総合計画に基づき事業を推進していくことが大事であると思

議会に対するご意見がございましたならば議会事務局までご連絡いただきますようお願いいた

します。透明で開かれた議会を目指して、議会の活動に対するご理解とご協力をよろしく

お願い申し上げます。最後にになりましたが、町民の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。議長就任のご挨拶といたします。

副議長就任あいさつ

佐藤 正明

去る五月八日開催の第三回町議会臨時議会にお

きまして、議員各位の推挙により、副議長という重責を与えていただきま

した。誠に光栄の限りでございます。

平成十九年四月、町民の皆様方のあたたかいご支援の下に、町議会に送り出していただいた以

来、早くも二年が過ぎました。まだまだ未熟な私ではありますが、議長の補佐役として、その任を全うしてまいりたいと思

います。今の日本経済は、二年前までの好景気から一変

し、昨年の中盤からはアメリカ経済の破綻に端を発し、百年に一度といわれるほどの大不況に陥りました。そんな中、富加町の財政も大変厳しいものがあります。今こそ、私達が知恵を出し合い、町当局と力を合わせ、明るく住みよい町づくりの



ために邁進しなければなりません。

道の駅も、いよいよ本

体工事が始まり、来年四月には竣工の運びとなります。富加町の活性化のために、また、町民の憩いの場としても、運営の面では、必ず軌道に乗せていかなければなりません。そうした面でも皆様

の大なるご協力をお願いするところであります。

また、本年度から介護保険料が標準月額で五、三五〇円と、大幅な改定

がなされ、対象の皆様には大変なご負担をお掛けしているところであります。富加町は地の利も良く、多くの方々へ各種の介護サービスを利用していただ

いておりますが、その結果として、保険料の改定に拍車を掛けているのも事実です。

こうした中で、日頃からのご自身の健康保持と、疾病の早期発見早期治療のため、昨年度から

始まりました特定健診を是非ともご活用いただき、老いても健康で明るい

老後生活が送れるよう、包括的な支援対策が必要だと感じておりま

す。最後にになりましたが、今後も町議会へのご理解と町政へのご支援をお願いしつつ、町民の皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。就任の挨拶といたし

専決処分

▽富加町税条例の一部を改正

今回の改正は、地方税法の一部を改正する法律等の施行により改正しました。

主な改正は、租税特別措置法の適用を受ける方の、住民税から住宅借入金等特別税控除をする期間の延長等。

・認定長期優良住宅の新築に係る固定資産税の減免申告の追加等です。
・個人住民税における住宅ローン特別控除の創設。

▽富加町国民健康保険税条例の一部も改正しました。

補正予算

▽平成二十一年度一般会計補正予算(第一号)

国の補正予算に伴い、緊急雇用創出事業臨時交付金として、県が受け入れ市町村に対して、事業費全額を補助するものです。

町としては、町人材シルバースターに委託し、中高年の失業者に対し、短期の雇用就業機会を創出・提供する事業費として、約一千二百万円の追加補正しました。

第四回臨時会

平成二十一年五月二十九日に町議会臨時会が開かれ富加町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例を全会一致で可決しました。

現下の経済・社会情勢に鑑み、人事院が平成二十一年六月に支給する国家公務員の期末手当等(ボーナス)を〇・二ヶ月引き下げる勧告がされたことに伴い、多くの自治体が国と同様の措置を講ずることになりました。

従って、本町でも職員・特別職(町長等)・議会議員も〇・二ヶ月引き下げます。これにより、六月支給の職員期末手当など(ボーナス)は、職

員平均で約六百万円の引き下げとなり、これにより総額で約五百万円の人件費が削減されました。

第五回定例会

第五回町議会定例会が、六月十一日から十八日までの八日間を会期として開催しました。

今定例会は、人事案件二件、平成二十一年度一般会計・特別会計補正予算二件、平成二十年一般会計繰越明許費繰越計算書等報告案件二件が上程され、審議の結果原案どおり可決しました。

人事案件

▽富加町固定資産評価審査委員会委員に木澤静夫さんが選任されました。任期は、平成二十一年六月から平成二十四年六月までの三年間です。



木澤静夫さん (五十一歳・新町)



辻 良尚さん (四十九歳・中町)



渡邊さち子さん (六十歳・高畑)

▽人権擁護委員の候補者の推薦に辻 良尚さん・渡邊さち子さんを適任であると答申しました。

補正予算

一般会計補正予算(第二号)は、一、八六二万円増額し総額二億三、八六二万円となりました。

▽主な内容は、保健センター改修工事設計委託料約二百万円、東公民館と南公民館の耐震補強計画設計業務委託料一、四七九万円を増額いたしました。

▽老人保健特別会計補正予算(第一号)は、一二九万円増額し総額二七三万円となりました。主な内容は、国庫負担金の返還金で、平成二十年年度の医療給付費の確定による社会保険診療基金へ返還するために増額いたしました。

報告

平成二十年度一般会計・後期高齢者医療特別会計繰越明許費繰越計算書について二件の報告がありました。

▽一般会計では、定額

給付金給付事業 九、二四六万円、タウンホールとみかの空調設備改修事業など総額一億四、三三九万円を、後期高齢者医療特別会計では、保険料の軽減措置を継続するために必要なシステム改修を後期高齢者医療制度システム改修事業で一五万円をそれぞれ、平成二十一年度へ繰越しました。

(繰越明許費とは)

経費の性質や予算成立後なんらかの理由で、その年度内に支出を終わらない見込があるものについて、議会の議決を得て翌年度に限り繰り越して使用できるようにする予算をいいます。



そこが聞きたい

町政 Q & A

一般質問

第五回定例会の一般質問は、六月十八日板津徳次議員から、定住自立圏構想の今後の対応など三件の質問が行われ、執行部の考え方を質しました。

その質問の要旨と答弁は次の通りです。



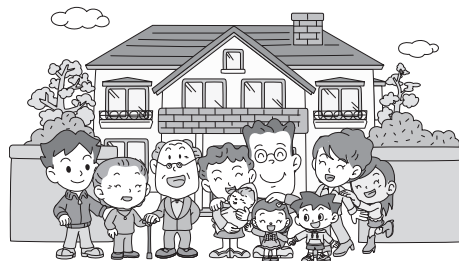
Q 定住自立圏構想の今後の対応について



板津徳次 議員

〔板津徳次議員〕

昨年十二月の私の定住自立圏構想に関する一般質問の答弁で坂井町長は『まだ定住自立圏構想そのものについては、これから具体的な仕組みづくりが始まる段階であります。市町村合併により新たに形成された団体にとっても、市町村合併しなかった団体であつても中心市と周辺地域による圏域の形成は必要不可欠であると思います。今後は、広域市町村圏との兼ね合いもありますが、富加町に住んで暮らしているよう、定住自立圏形成の中心市となる団体と双方について市町村間の連携協力関係を拡大していきたいと思つています。』と定住自立圏構想について非常に前向きに答弁されたところですが、その後、



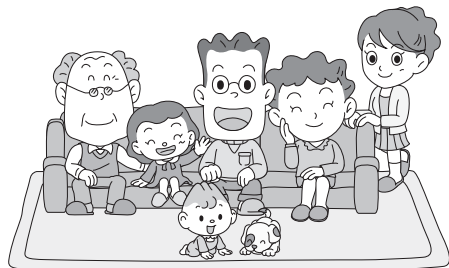
美濃加茂市においては、平成二十一年三月二十四日に、中心市宣言がなされ、四月十六日には定住自立圏構想に係る美濃加茂市・加茂郡町村連絡会議が開催され今後は二ヶ月に一回のペースで開催されると聞いております。こういった状況の中、あらためて定住自立圏構想に対する坂井町長の考え方と今後の富加町の取組について具体的に説明いたします。また、この構想に関しては地域の人々や商工会等の民間事業者の方々また、農業関係者や各種団体等から広く意見を求めることが重要と考えるものですが、町民への対応についても併せてお答え願います。

A

〔坂井町長〕

定住自立圏構想に係る美濃加茂市・加茂郡町村連絡会議は、中心市宣言を行った美濃加茂市と圏域で形成する加茂郡7ヶ町村の情報の共有化を図るものでありますが、現段階では、新たな進展はなくまだ具体的な検討には入っておりません。

美濃加茂市は、定住自立圏の中心市宣言を掲げて、地域全体の中心的な役割を担い、積極的な各種サービスを提供している以上、富加町として「自立するための経済基盤の確立」と「定住するうえで必要な暮らしの要素とな



る医療、福祉、交通、教育等の結びつき強化のための取組」について中心市である美濃加茂市と具体的協議を行っていきたいと考えております。当然のことではありますが、定住自立圏形成協定は、美濃加茂市と一対一で締結する協定であり、また議会の議決を経ての協定締結であることから、今後議会の皆様と具体的な取組については、十分な意見交換をして参りたいと考えております。

Q 役場活性化の為に人事異動について

〔板津徳次議員〕

昨年六月の私の町長の基本方針と人事に関する一般質問の答弁で坂井町長は『ご指摘のとおり職員意識改革も極めて重要と思つております。職場の活性化は人事が大変重要であることは指摘の通りであります。現在、人事面を含め職員間に何かしら閉塞感があるのは事実であろうと感じております。人事の硬直は職員の士気にも影響するとは私も十分承知いたし



ておりますが、手をこまねいているわけには参りません。すぐには参りませんが、結果は別として年度内には何らかの行動を起こすつもりでありますので、職員の中に新しい風が起こせないか考えております。今しばらく見守ってほしいと思つています。』と述べられ、その後については昨年九月の教育長人事と本年三月の副町長人事を打ち出され、総仕上げとも言える課長を中心とした大幅な職員人事を七月の収入役の退任に合わせて行うと明言されております。

人事異動については、私は以前から職場の活性化の為に夢と希望のあるものでなければならぬと考えています。職場に夢と希望があつてこそ公

務員としての仕事に自信を持って望むことができ、町民サービスの向上にも繋がることと信じているしだいです。

今回の人事と概要とその目的を改めてお伺いいたします。また、公務員の人事について事前公表はあまり例がないとは思いますが、今回は特に大幅な人事異動ということもあり、スムーズな職務の引継ぎ効果等を期待して、事前公表に踏み切ってみてはどうかとお伺いいたします。

A

【坂井町長】

ご質問の中にありましたように人事異動は職場の活性化のために夢の持てるものでなければならぬものと思っております。夢の中には、昇任・昇格も当然含まれていると考えております。夢があつてこそ仕事に自信と誇りを持って望むことができ、町民サービスの向上に繋がるものと私も思っております。

私が町長に就任いたしました平成8年の課長職



以上の職員の約90%が45歳以下で幹部職員の構成をしておりました。職場の活性化・職員の「やる気」は、人事が大きなウエイトを占める事は十分承知を致しておりますが、硬直した人事に対する特効薬はなかなか見つからないと思っております。そのような状態の中で、組織上から活性化・職員の「やる気」が引き出されないものかと考え、平成十八年度に1局8課を1局4課のグループ制に組織を大きく見直しましたが、必ずしも意とした成果は、上がっていないものと感じております。それ以降、小規模な見直しや人事異動を行ってきました。今回、7月末の収入役の退任と、二つのグループ長の欠員補充と併せて、8月1日付けで人事異動を行いました。

Q 富加町への光通信の導入について

【板津徳次議員】

いと考えております。相当大きな異動になるものと、考えております。なお、異動の発表時期については、年度途中の人事異動で事務の停滞も心配されますので事務の引き継ぎ等に支障のないよう、早い時期に内示をしたいと考えておりますのでよろしくお願ひします。

一九九五年にパソコンソフトの「ウインドウズ95」が出現して以来インターネットの普及は目覚ましいものがあり、六月二日に米マイクロソフト社はパソコン向けの新基本ソフト「ウインドウズ7」を一般向けに十月二十二日に発売すると発表し、その技術の進捗には驚くばかりです。ご存知の通りインターネットは瞬時に世界とつながり、多くの情報を得ることが出来ることから、その通信速度については、動画の配信一つをとっても驚異的な早さが現在では可



能となつていきます。しかしながらインターネットの先進国の一つでもある我が国の現状といえ、人口の多い都市部以外の富加町のような地域においてはまだまだ十分なインフラが整っているとは言いがたい状況です。

富加町においてはインターネット人口も増加しており、光通信のインターネット利用を希望する声が増しに高まっているのが現状といえます。

そこで、NTT等の通信事業者の富加町での光通信事業への進出予定はないのか、また進出に關し地元負担があるとするばそれに應じる予定はあるのか、国・県等の補助制度の有無も含めてお答え願ひします。

【坂井町長】

主な通信事業者でありますNTT西日本は、この今年3月までは、富加局に新たな光通信網のサービスエリアを拡大する計画がなく、地元負担の有無についてすら検討の余地がありませんでした。

これにより、インターネット通信は、現時点では一応ブロードバンドと呼ばれておりますがADSLの接続方式に限られていることとなります。ADSLは、イメージ的には高性能レーシングカーを一般道路に走らせている方式であります。光ファイバーは、高速道路を新規に敷設して、早く安定した走行に供するようなものであります。

この投資費用に対して、富加局では、採算効果が明らかに見込めないことから、光通信網のエリア拡大につながっていないのが現状かと思ひます。ただ最近になり、NTT西日本がエリアを拡大する意向を示してきておりますが、まだ投資費用

については、明らかに示しておりません。

この場で地元負担の是非についてお答えすることは到底できませんが、ある程度事業費が見込める段階になれば、ICT関連の国庫補助事業も多種多様にありますので、十分に補助金の活用もできるものと思っております。

ただし、光通信網の整備は、自治体設備活用型であっても民間事業者補助支援型にしろインターネット通信の利用のために多額の費用を投入することになりますので、十分な検討と協議が不可欠になるかと思ひます。



第53回 加茂郡消防操法大会が、6月21日（日）に白川町蘇原小学校において、雨天の中開催され富加町からは、滝田自動車班が出場されました。残念ながら上位入賞（3位以上）とはなりませんでしたが、井高の森 賢太郎さんが3番員で個人賞を受賞されました。『みなさん、ご苦労様でした!!』



議会の動き

15日	11日	9日	7日	3日	29日	29日	27日	26日	24日	22日	21日	20日	19日	15日	14日	10日	8日	1日	【五月】	
総務産業建設常任委員会	第五回富加町議会定例会（初日）	郡消防操法大会出場隊激励会	可茂防衛協会総会	加茂郡体育大会	可茂郡体育大会総会	可茂一部事務組合議会	富加町防衛協会役員総会	富加町防衛協会役員総会	富加町消防操法大会	加茂郡体育大会結団式	可茂地域市町村議会議長会	可茂地域市町村議会議長会	長研修	全国町村議長・副議長挨拶	正副議長関係機関就任挨拶	富加町「道の駅」起工式	富加町「道の駅」起工式	富加町商工会通常総会	議会議長関係機関就任挨拶	議会議長関係機関就任挨拶
18日	16日	21日	23日	25日	26日	28日	30日	30日	30日	26日	28日	30日	30日	28日	26日	25日	23日	21日	18日	
文教厚生常任委員会	第五回富加町議会定例会（最終日）	加茂郡消防操法大会ふれあいオンステージ	可茂町村議会議長会	富加町農業振興会総会	東海環状自動車道中濃地域建設促進協議会等	長良川鉄道連絡協議会定期総会	身体障害者加茂支部ゲートボール大会	中濃地域農業共済事務組合臨時会	中濃拠点都市地域整備推進協議会総会	富加町消防操法大会	富加町農業振興会総会	東海環状自動車道中濃地域建設促進協議会等	長良川鉄道連絡協議会定期総会	身体障害者加茂支部ゲートボール大会	中濃地域農業共済事務組合臨時会	中濃拠点都市地域整備推進協議会総会	富加町農業振興会総会	加茂郡消防操法大会ふれあいオンステージ	加茂郡消防操法大会ふれあいオンステージ	加茂郡消防操法大会ふれあいオンステージ

編・集・後・記

六月定例会より議会人事の異動により山田守・板津徳次の二人が広報委員会を担当することになりましたのでよろしくお願ひ致します。

さて、六月十一日に開会した第五回定例会については、国の緊急経済対策による補正予算に関連した繰越明許費の大きさが目についたところですが、その中の定額給付金給付事業と子育て応援特

別手当支給事業が六月十一日現在それぞれ九十六%を超える実績と報告されているのはひとまず安心といったところで、国の平成二十一年度補正予算においては地域活性化・経済危機対策臨時交付金に総額約一億円の事業が提案され、議会の要望も聞きながら七月の臨時議会に提案される予定です。ばらまきの批判もある中、財源の乏しい地方自治体にとってはありがたい交付金といえますが、事業計画の緊急な立案等町執行部は忙しい日々が続くと予想されます。

今後の「議会だより」の編集方針としては、富加町議会の様子をいち早く伝えるのが重要と考え、発行の迅速化を第一に掲げています。また多くの町民の皆様様に読んでいただく為に紙面の見直しも図ってゆきたいと考えていますのでご期待下さい。

議会広報委員会
委員 山田 守
// 板津 徳次